

循環器科  
診療案内



# 肥満と漢方

愛知県がんセンター中央病院  
循環器科 波多野 潔

# 漢方は結構、身近に浸透しています。

下の薬は市販されている漢方薬です。

CMなどで、なじみの深いお薬ばかりです。漢方薬と知らないで内服された方もあるかもしれませんね。

§ 風邪、肩こりの薬  
カコナール：葛根湯  
ルル内服液：葛根湯

§ 肥満改善薬  
ナイトール：防風通聖散  
ビスラットゴールド：大柴胡湯

§ 排尿障害  
ハルンケア：八味地黄丸

§ 下剤  
タケダ漢方便秘薬：大黄甘草湯



# 循環器科と肥満

ここでは漢方以外の医学を西洋医学と表現させていただきます。

循環器科は、心筋梗塞や狭心症など心臓病の治療を専門とする科です。

心臓病の元になる病気に、肥満症、メタボリック症候群、糖尿病、高血圧、高コレステロール血症があります。

西洋薬は、心臓病、糖尿病、高血圧などに大変優れた効果をもっていますが、なぜか肥満に対する優れた西洋薬はありません。

困ったことに、循環器科の患者さんには肥満の方が多いのです。



# 肥満と漢方

肥満症は心臓病の原因の一つですので治療の必要があります。肥満治療では減食療法と運動が基本になります。

当循環器科では基本の食事、運動療法の補助として西洋薬、フォーミュラ食による食事療法に加えて漢方治療も行います。

肥満に対する漢方治療を、患者さんの体質や症状に合わせて、体調を維持、改善するようにしながら行っております。肥満治療の薬物療法では、採血による副作用チェックを行いながら、安全な治療を行っています。



循環器科  
診療案内

# がん漢方



愛知県がんセンター中央病院  
循環器科 波多野 潔

# 最近、がん漢方が注目されています

## がん漢方の役割1:

がんや抗がん剤によるつらい症状の緩和に、漢方薬が劇的に効くことがあります。これらが改善できた場合、多くのがん患者さんは楽で元気に過ごせるため、積極的に使用されています。



# 攻めの西洋医学と守りの漢方

攻めの西洋医学と守りの漢方医学の併用により、がんとの戦いを有利に展開させる可能性が広がります。

**攻めの西洋医学:**西洋医学は手術、薬物、放射線により積極的にがんを攻撃します。有効率も高く強力です。がん治療には攻めの西洋医学が必須です。

**守りの漢方医学:**がんでない正常細胞もがん治療により攻められます。漢方治療は正常細胞を守ることで、抗がん剤の副作用を軽減します。

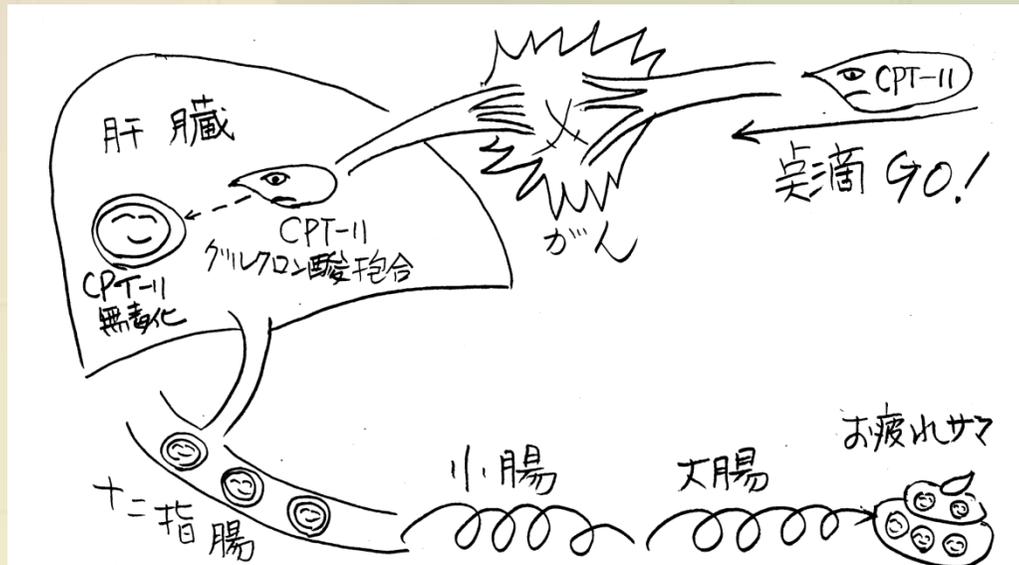
現在、西洋医学によるがん治療を受けて見える方で、漢方によるがん治療のお話を聞きたい方、お話しされたい方は、主治医とご相談の上、循環器科を受診してください。



守りの漢方医学の1例を紹介します

# 攻める西洋医学

抗悪性腫瘍薬CPT-11を点滴静注すると、がんに到達して優れた抗腫瘍効果を発揮します。その後CPT-11は、肝臓でウリジン2リン酸グルクロン酸転移酵素1A1によって不活性化され(グルクロン酸抱合)無毒な物質になります。グルクロン酸抱合により無毒化されたCPT-11は肝臓から12指腸を経由して小腸、大腸を通過して排泄されていきます。



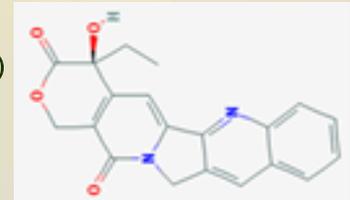
## CPT-11

(分子式  $C_{33}H_{38}N_4O_6$ )

その他の名称:

カンプトテシンII、トポテシン

塩酸イリノテカン、カンプト



カンレンボク由来の抗腫瘍性アルカロイドであるカンプトテシンから合成された抗悪性腫瘍薬である。

# ところが、困ったことが

グルクロン酸抱合により無毒化されたCPT-11が、腸内の消化液によってグルクロン酸抱合がはずれて有毒なCPT-11になってしまいます。

腸の中で有毒なCPT-11が働くと腸管が損傷を受けて重症な下痢となります。



# 漢方で腸を守ります

ここで、生薬のオウゴンに含まれるバイカレインが腸内にあるとCPT-11を抱合して無毒化してくれます。したがってCPT-11による下痢にオウゴンを含む半夏瀉心湯を内服すると腸が回復して下痢がおさまります。



# 最近、がん漢方が注目されています

## がん漢方の役割2:

漢方薬のがんに対する抗腫瘍効果は動物における基礎研究で認められています。この基礎研究で、がんの有効であった補剤と呼ばれる漢方薬が、使われ始めています。

漢方によるがん治療のお話をお聞きになりたい方、お試されたい方は循環器科を受診ください。

ご要望の多い中医薬“カイジ”の相談にも対応できるようにしました。

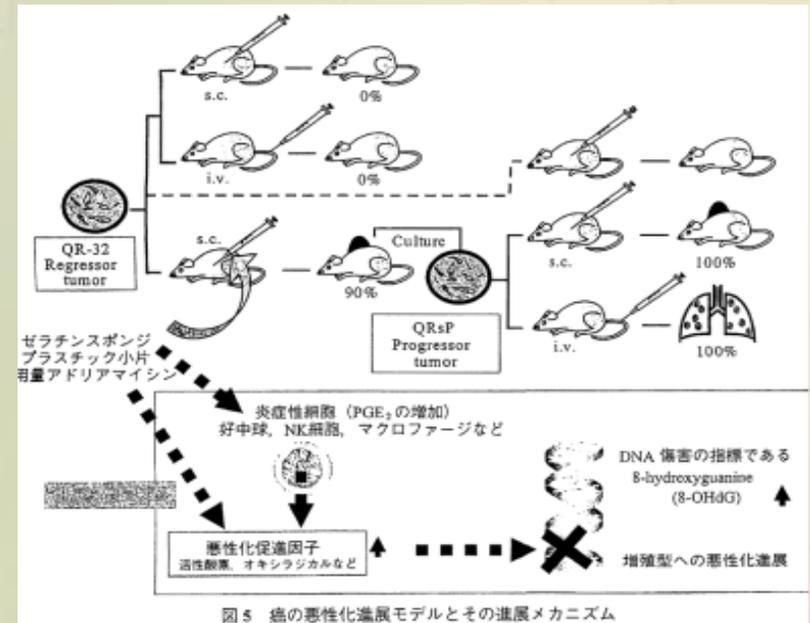


# 漢方薬のがんに対する直接効果の 代表的な基礎研究

富山大学の齊木先生が行った、  
漢方薬が動物の癌治療に有効で  
あった基礎研究があります。

この研究で、十全大補湯や人参養  
栄湯という漢方薬が大腸癌の肝転  
移、肺転移を抑制する事を証明し  
ました。

この発表の中に出典を掲載しておきます  
ので、興味のある方はお読みになっ  
てください。



1) Saiki I: Review: A Kampo medicine "Juzen-taiho-to" –  
Prevention of malignant progression and metastasis of  
tumor cells and the mechanisms of action-, Biol Pharm  
Bull 2000; 23: 677-688

# がん漢方にいろいろな問題点が。。。

がん患者さんから発生したがん細胞は、患者さんご自身の細胞と酷似しています。したがって、人を元気にする漢方薬が、がん細胞をも元気にして、がんを悪化させる危険性をはらんでいます。

漢方薬の中には、女性ホルモンの分泌を増やす薬があります。このような漢方薬を女性ホルモンが関連する腫瘍に投与すると腫瘍が増悪する可能性があります。

漢方薬が抗がん剤の代謝に影響して、抗がん剤の排泄を抑制してしまい、抗がん剤が効きすぎてしまう。

他にも、いろいろ。。。。

# がん漢方を慎重に行う。

前述の齊木先生のご発表以来、漢方薬が悪性腫瘍の医療現場で頻用されるようになりました。しかし、がん漢方には、様々な問題があります。安易に使用すれば、悪性腫瘍を悪化させてしまう事もあります。

問題点にぶち当たるたびに、がん漢方をやめようと思いましたが。ところが、東洋医学には強い魅力があります。それに魅せられてやめられず。がん漢方の問題点をクリアーしながら、癌種、性別、年齢、がん治療歴を考慮して、慎重に、がん漢方診療を行っています。

# 漢方と副作用

漢方薬は、生薬だから安全で副作用がないというイメージがあります。

薬効があれば当然、副作用もあります。

副作用としては肝炎、肺炎、塩分の異常が主なものです。

採血などで適宜チェックを行います。



# 主な副作用の症状

## 1)肺炎:

から咳、息苦しさ、少し動くと息切れ、発熱。

## 2)塩分の異常:

だるい、血圧上昇、むくみ、体重増加、手足の  
しびれ・痛み、筋肉のぴくつき・ふるえ、力が入らない、  
不整脈、意識消失

## 3)肝炎:

だるい、食欲不振、吐き気、発熱、発疹、かゆみ、皮膚や白  
目が黄色くなる、尿が褐色

副作用の頻度は高くありませんが、当科では適宜副作用  
チェックします。



# 最後まで、お読みくださいます、 有難うございます。

漢方は四千年間の知識の集積です。

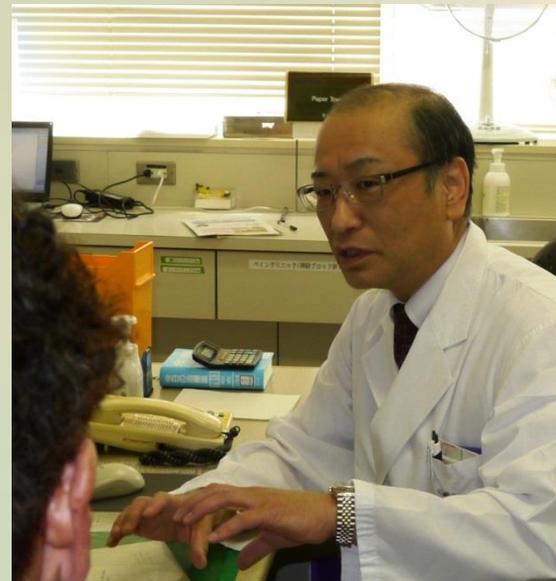
この漢方が、がん治療という現代医学で最もホットな局面の一つに歴史的には予想もできなかつたような形で貢献し始めています。

漢方や心臓病、肥満、がん漢方に関して、お問い合わせ等ございましたら、お気軽にご相談ください。

愛知県がんセンター中央病院

循環器科 波多野 潔

外来日：毎週 月曜日、木曜日



# 漢方薬が癌に効いたという文献リスト1

- 1) Saiki I: Review: A Kampo medicine "Juzen-taiho-to" –Prevention of malignant progression and metastasis of tumor cells and the mechanisms of action-, Biol Pharm Bull 2000; 23: 677-688
- 2) Yamada H, et al(eds): Traditional herbal Medicines for Modern Times Volume 5, " Juzen-taiho-to (Shi-Quan-Da-Bu-Tang) ", Scientific Evaluation and Clinical Applications, CRC Press Taylor & Francis Group, Boca Raton FL, 2005;1-242
- 3) Saiki I, et al: HPLC analysis of Juzen-taiho-to and its variant formulations and their antimetastatic efficacies. Chem Pharm Bull 1999; 47: 1170-1174
- 4) Ohnishi Y, et al: Inhibitory effect of a traditional Chinese medicine Juzen-taiho-to on progressive growth of weakly malignant clone cells derived from murine fibrosarcoma. Jpn J Cancer Res 1996; 87: 1039-1044
- 5) Ohnishi Y, et al: Oral administration of a Kampo medicine, Juzen-taiho-to inhibits liver metastasis of colon 26-L5 carcinoma cells, Jpn J Cancer Res 1998; 89: 206 - 213

# 漢方薬が癌に効いたという文献リスト2

6) Ohnishi Y, et al: Expression of anti-metastatic effects by Juzen-taiho-to is based on the content of Shimotsu-to constituents. *Biol Pharm Bull* 1998; 21: 761-765

7) Chino A, et al: Juzentaihoto, a Kampo medicine, enhances IL-12 production by 5 Toll-like receptor 4 signalling pathways in murine peritoneal exudates macrophages. *Int Immunopharmacol* 2005; 5: 871-882

8) Matsuo M, et al: Organ selectivity of Juzen-taiho-to and Ninjin-yoei-to in the expression of anti-metastatic efficacy, *J Trad Med* 2002; 19: 93-97

9) Muraishi Y, et al: Effect of interferon- $\alpha$ A/D in combination with the Japanese and Chinese traditional herbal medicine Juzen-taiho-to on lung metastasis of murine renal cell carcinoma. *Anticancer Res* 2000; 20: 2931-2938

10) Mitani N, et al: Inhibitory effect of berberine on the mediastinal lymph node metastasis produced by orthotopic implantation of Lewis lung carcinoma. *Cancer Lett* 2001; 165: 35-42

# 漢方薬が癌に効いたという文献リスト3

11) Ichiki K, et al: Regulation of activator protein-1 activity in the mediastinal lymph node metastasis of lung cancer: Clin Exp Metastasis 2001; 18: 539-545

12) Wakabayashi C et al: In vivo anti-metastatic action of herbal medicine Juzen-taiho-to on lung metastasis of murine renal cell carcinoma. Oncol Res 1997;9:411-417

13) Wakabayashi C et al: An intestinal metabolite of ginseng protopanaxadiol sapollins has the ability to induce apoptosis in tumor cells, Biochem Biophys Res Commun 1998; 246: 725-730

14) Hasegawa H, et al: Cancer prevention by Ginseng via its intestinal bacterial metabolites. Art Village, 2003; 1-149